

2018年度  
本願寺  
仏教文化講座

## 第1回 著者と学ぶ『季刊せいてん』at 北御堂



第1回講師の黒田義道先生。理路整然、かつ熱のこもったお話でした。

九月二十六日、本誌に連載の先生にご登場いただき「著者と学ぶ『季刊せいてん』」を開催しました。今年度第一回目となった今回の講師は、親鸞聖人の伝説的物語にスポットを当てる「もう一人の〈親鸞〉」の黒田義道先生（京都女子大学准教授）です。黒田先生には、本誌124号の「一切経校合」をもとに講義を行っていただきました。受講者の皆様からは、「時の権力者と宗教者の関係が興味深く印象に残った」「よく理解でき、ますます興味が出た。これからも参加したい」「直接質疑応答ができたことはとてもよかったです」などのお声を頂戴しました。以下、講義の内容を簡単に紹介いたします。

覚如上人の著された『口伝鈔』第八條は、親鸞聖人が鎌倉幕府の一切経校合（お経に誤りがないか確認する作業）に参加されたという逸話です。この逸話について、伝説か史実か、議論が続いています。その際特に、親鸞聖人が為政者との

間に距離をおかれたという従来のイメージに不用意に引きずられないよう、留意が必要です。さらにこの問題は、親鸞聖人の一切経校合への参加の有無と、親鸞聖人と北条時頼との問答の有無の二つの問題に分けて考えることが適切であり、前者の一切経校合への聖人の参加は史実である可能性が高いと思われます。また、逸話の中に出る親鸞聖人の言葉は、私たちが肉をいただくことを当たり前のことと考えてしまっていないか、問いかけています。私たちは他のいのちをいただいで生かされていることを、今一度、思い出し、改めて心に留めたいと思います。

\* \* \*

次回の講師は、「幸せってなんだろう」の藤丸智雄氏、司会は丘山願海氏です。寒さを吹き飛ばす、二人の熱い論戦？も見物です！皆様のご来場を心よりお待ちしております。



満井秀城氏（左、総合研究所副所長）が司会をつとめた質疑応答の様子。黒田先生は、「難問」の数々に丁寧に答えくださいました。

### 【第2回のご案内】

日 時	2018年12月13日（木） 18:30～20:25
場 所	本願寺津村別院（北御堂）津村ホール *地下鉄御堂筋線「本町」駅すぐ
講 師	藤丸 智雄氏（総合研究所副所長） *質疑進行：丘山 願海（総合研究所所長）
講 題	快樂と幸福
受 講 料	無料 <b>お申し込み</b> 不要
テキスト	『季刊せいてん』no.125
持 ち 物	念珠 筆記用具 テキスト

\*『季刊せいてん』（¥700）は、当日会場でもご購入いただけます。



藤丸智雄氏